



人権教育だより

京丹後市立大宮中学校

令和2年5月25日

No.2



～自分も仲間も大切にできる思いやりの心を育てよう！～



自分の人権を、そして他の人の人権を大切にできる人に！

長い休校期間が明け、学校に生徒の皆さんの活気が戻ってきました。

大宮学園では、自分や仲間や周りの人の「人権」について考える日として、毎月25日を「ニコニコの日」＝「人権の日」としています。その日一日大宮学園の児童生徒と先生は、胸に人権バッジをつけ、人権を意識する日とします。このバッジは平成27年度卒業生の奥田莉加さんがデザインしてくれたものです。バッジに込められた思いを感じながら、つけてほしいと思います。

人権バッジ



作者の思い

私は、5人の子どもをデザインしたマークを描きました。

表情は5人とも違う風にして、一人ひとり違う個性をもっていることを表しました。

みんなの体がつながっているのは、みんなでひとつということを表現したからです。

このデザインには、みんなそれぞれ違うけど、みんなつながっているという思いを込めました。



花いっぱいの
美しい環境づくり

花いっぱい運動



毎年、卒業式が終わった時期に、2年生が新入生を花いっぱい歓迎する意味と、学び舎を美しい環境にする意味で、「花いっぱい運動」を行ってきました。しかし、昨年度末は新型コロナウイルスの感染拡大対策による臨時休校になったため、先生たちで花植えをしました。生徒のみなさんの活動にできなくて残念でしたが、毎日のお世話（水やりや花柄摘み）は整美委員さんを中心にお世話になります。美しい環境の中で、楽しい学校生活が送れることを願っています。

